

魚沼基幹病院 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	B型肝炎再活性化対策に関する取り組みの評価
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	<p>抗がん剤、分子標的薬、免疫抑制剤、ステロイド製剤（20mg/body/day、14日間以上）を初回投与された患者</p> <p>2016年1月1日から2021年3月31日</p>
③ 概要	<p>B型肝炎ウイルス（HBV）の再活性化は、発症早期に核酸アナログ製剤が投与されないと致死的となることから、早期に対象症例を把握し、適切な対応をとることが必要です。当院では、抗がん剤をはじめ、免疫抑制を来す可能性のある薬剤が投与されている全例を対象とし、HBV関連マーカーの検査実施推進のため、病院全体で体系的な取り組みを開始しました。必要な検査の履行を確認・モニタリングすることで検査実施率の向上が図られたかを調査します。</p>
④ 申請番号	01-019
⑤ 研究の目的・意義	病院全体で取り組んだモニタリングシステムの有用性を検証します。
⑥ 研究期間	2016年1月1日から2021年3月31日
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている血液検査結果、処方歴を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧ 利用または提供する情報の項目	年齢、性別、血液検査結果、処方歴
⑨ 利用の範囲	魚沼基幹病院
⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	魚沼基幹病院 薬剤部 貝瀬 真由美
⑪ お問い合わせ先	魚沼基幹病院 薬剤部 貝瀬 真由美 m-kaise@ncmi.or.jp